今、高校生が考える生成AIとの付き合い方　ー「誤情報・偽情報」を超えた活用法を考えるー

開催地：　仙台　　グループ：　　D班　　2024.08.02

AIと英語教育

現在の授業風景

最近の高校では、iPadやPCが生徒に配られている

しかし……

電子機器を使用した授業があまり普及しておらず、特に英語の授業では未だアナログの授業が基盤となっている。

➡英語力向上のため、対話型AIなどを授業に取り入れるのが良い

提案

アナログを活用→現在も需要がある

AIを活用→今後必要となる技術

⬇️

<u>AIと先生を両方活用する</u>

・答えを明確に示さない
・アドバイスやヒントだけを与える

→ それを元に先生に質問

デメリット

- 感情、身振り手振りが伝えられない…

- 聞き間違い

- 硬い文章

→<u>思ったのと違う回答がくることが懸念</u>

メリット

- 英語の発音の苦手分析ができる

  →AIが個人に合ったアドバイスをしてくれる

- 緊張しない

  →人と直接話さなくてよい

- いつでもできる

  →自分のタイミングでできる

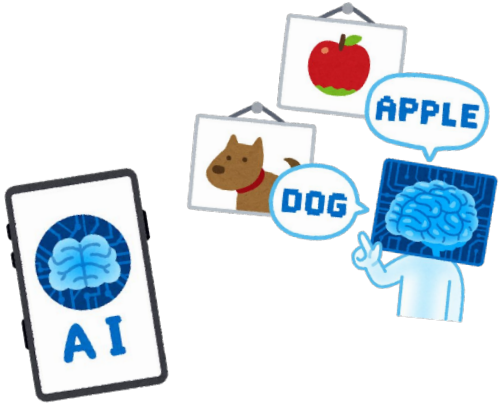
- 先生の負担を減らせる

  →先生の手間を減らせる

結論

GIGAスクール構想(1人一台PCを持つ)が活用しきれていない現状

⬇️



生成AIを用いた
実用的な英語学習

・答えを提示しない
・学生なら誰でも使える
・フリートーク型
・AIの長所を活かす

生成AIを用いた学生向け英語学習アプリを作る べき